

日立卓上型電子顕微鏡 Miniscope ® TM4000Plus II で見る世界

6月7日（水）に株式会社日立ハイテクサポート様に、リモートで1年生の理科の特別授業をしていただきました。

『見えないものを見てみることで どんな世界が広がるか 確かめる』

昨年度に引き続き、株式会社日立ハイテクサポート 山根瑞葵 さん（本校7期卒業生）の進行でクイズ形式のスライドが始まりました。分かりやすい質問、面白い進行に、生徒は正解だと思うものに手をあげたり、答えを聞いて声をあげたりして、楽しく授業が進みました。紹介された電子顕微鏡は、見るものを10万倍に拡大でき、1円玉を10万倍にすると、東京スカイツリー3塔分の高さと同じになるそうです。

中身がつかないヨーグルトのふたや、刺したとき痛くない注射針の仕組みは？それぞれ「凸凹したハスの葉の表面」「刺されたことに気付かない蚊の口先」の形を真似ていることを知りました。スクリーンで巨大な蚊の口の写真を確認し、自然から学び創り出されたテクノロジーは、生物模倣技術（バイオミメティクス）というのだと学び、その耳慣れない言葉を声に出してしていました。

進行が変わると、株式会社日立ハイテク 寺田 大平 様から、実際の卓上型電子顕微鏡の紹介がありました。カメラを寄せて見せてくださると、生徒から「すごい」などの声が漏れていました。

後半は、社員として働いている卒業生が次々と画面に登場し、メッセージをくださいました。

8期生 T さん「コミュニケーション、報連相は大切です。失敗から学ぶことは成功から学ぶことよりも多いです。」、9期生 H さん「資格の取得をしてください。メモを取って見返すこと、失敗をしたら報連相をすることが大切です。」、10期生 S さん「ビジネスマナー、敬語を意識しましょう。注意はしっかり受け止めましょう。」、11期生 Y さん「学生で時間があるうちに資格を取りましょう。」13期生 S さん「分からないことは聞いて、メモを活用しましょう。」1期生 S さん「メモを取ることで、考えて分からないときはすぐに聞くことが大切です。学生時代、楽しく過ごしましょう。」14期生 I さん「注意されたら受け止めて改善しましょう。」

生徒は、たくさんの先輩の貴重なアドバイスを聞いて素直にうなずいていました。頼もしい先輩の姿は、憧れとともにこれから成長していく良い道しるべになりました。

【理科教育支援活動の詳細は、株式会社日立ハイテク様の理科教育支援専用ページを御覧ください。

URL <https://www.hitachi-hightech.com/jp/science-edu/>】

